

事業所名：グループホームあおぞら

作成日：平成30年12月22日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	グループホームあおぞらの職員が過半数入れ替わった機会に、改めて利用者や家族の意見や要望を取り入れて運営を行なうように努める。	利用者や家族と職員の意見交換を行う。	聴き取った意見を必ず記録し署名する。常勤勤務の職員は年4回以上、パートタイムの職員は年2回以上業務日誌に記録する。	12ヶ月
2	11	管理者は、運営に関して、職員の意見や提案を聴く機会を設け、反映するように努める。	月1回のカンファレンス以外に管理者、職員同士が気兼ねなく仕事の不安や、日頃思っていることを言える機会を設ける。	年2回以上、そのような機会を持つ。	12ヶ月
3	23	利用者一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境の把握に更に努める。	利用者の今の思いを知るため、声掛けや挨拶をした時の表情や雰囲気を感じ取り、記録に残す。	月に一人の利用者ごとに1回以上、利用者の思いを業務日誌に記録し署名する。	6ヶ月
4	27	利用者の日々の様子やケアの実践・結果、気付きや工夫を記録し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画を作成する。	実践したこと、その結果、その時気付いたこと、工夫したことを生活記録に記録すると共に、申し送り及びカンファレンスでの確認により情報を共有する。	月に1例以上情報の確認を行い、年に利用者ごとに2回以上気付きや工夫を発表する。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。